

# 教育実習

5月22日～6月16日

## ‘2名の先輩先生’元気ハツラツ！



本校卒業の坂地純弥先生(保健体育担当)と辻真梨亜先生(国語担当)は教育実習を行った。坂地先輩は4週間、辻先輩は3週間の実習期間に教科指導・クラブ指



導・クラス運営等さまざまな教育活動を通して実践力を培ってくれたものと思う。両先輩とも将来は母校で教鞭をとりたいと熱く語っている。早く戻ってきて後輩たちを指導してくれることを願っている。

### 「教育実習の感想」 坂地純弥



私は高校生の時に、部活動で熱心に指導して下さった先生に憧れ、教員を目指そうと心がけました。現在は山口県の徳山大学で教員になるべく日々勉学に励んでいます。



この度は母校でもある新翔高等学校に4週間のあいだ、教育実習生としてお世話になりました。気が付くとあっという間に実習期間の最後の週に入っており、初めは不慣れながらも一生懸命に生徒と打ち解けられるように頑張ってきました。今ラグビー部では専門的にラグビーを指導できる先生がおらず、部活動にも毎日参加させていただきました。実習期間中に総体があり、対戦校に見事勝利することができ、とても嬉しかったです。実際、実習生として現場に出ると大学の講義とはまた違う刺激があり、たくさんのお話を学ぶことができました。この実習



を終えて教員になりたいという思いはますます強くなり、将来は和歌山に戻ってきて教員を目指そうと思うようになりました。山口県に帰り残り少ない時間、きちんと勉強し、立派な先生になれるよう努力していきます。4週間と短い期間でしたが大変お世話になりました。



## 「教育実習の感想」 辻 真梨亜



初日はとても緊張していて、何も出来ずに1日が過ぎてしまいました。最初の1週間は授業見学をしていて、私が生徒の時に受けていた授業も見学させていただきましたが、当時と全く違う印象を受けました。どうすれば生徒が、「面白い」と思ってくれるか、どうすれば分かりやすいかをととても研究されていた事を1番に感じました。

国語科の先生の授業は全部見学させていただきましたが、その先生によって授業の進め方や雰囲気は全く違い、とても勉強になりました。そして、空き時間は職員室に居させてもらっているので、先生方が、遅刻や欠席が多い生徒の心配をしていたり、連携を取って協力していたりして、生徒からは見えていない部分を見て、改めて大変な仕事だと思いました。常に生徒のことを考えていて、優しいだけではなく厳しくもある存在であることの難しさを勉強させていただきました。

2週目の水曜日から、初めての授業を担当させていただきました。最初はとても緊張していて、上手く発問できないときに、自発的に発言してくれたり、本文を読もうと手を挙げてくれたり、生徒に助けられました。生徒の反応や意見に対応する難しさや重要さを感じました。授業をしていて、生徒に理解してもらおう為と思い、説明をしすぎて授業が単調になってしまいました。返事が返ってこなかったり、寝てしまったりして焦ってしまい、最初は注意できませんでした。新宅先生に、注意するというより、体調悪くないか、授業の内容が分かっていないのかなど、まず心配してあげると、直接注意されるより、言う方も言いやすいし、言われる方も、聞く耳をもつとアドバイスしていただいて、次の時間に初めて指摘することができました。何回か授業をしました。毎回課題や、反省点があり、努力し続けなければならないと思いました。少し授業で、うまく伝わったかなと思っていたら、生徒の反応が良くなったので、やりがいを感じました。授業でも授業外でも、声をかけてくれたり、反応が返っていたりすると、とても嬉しく、先生って本当に良い仕事だと思いました。もちろん私が見えていない辛いところや、嫌なところはたくさんあるとは思いますが、この実習でもっと先生になりたいという気持ちが強くなりました。

